



ASJ
ADMIRAL SYSTEMS INC.



Financial Report 2005

第22期事業報告書 2004年4月1日～2005年3月31日

インターネットサーバ技術を核に、
デジタルコンテンツ事業の領域を拡大し続けています。

基本理念

ASJは、「人を思いやり、社会を思いやり、世界を思いやる」をすべての企業活動の基本とし、全従業員の物心両面での幸福を追求すると共に、社会及び世界の進歩、発展に貢献するため、確信的なIT技術の研究と開発に努め、長期安定的な成長と発展を遂げてまいります。

ASJグループ

株式会社スポーツレイティングス

所在地:日本

事業内容:スポーツレイティング情報配信サービス

株式会社リーフ・アド・プランニング

所在地:日本

事業内容:コンテンツ企画制作、Web企画制作、アフィリエイトプログラム事業

株式会社イー・フュージョン

所在地:日本

事業内容:Webコンテンツ制作事業・Webコミュニティ制作事業

ASUSA Corporation

所在地:米国

事業内容:インターネットサーバサービス事業

AS AUS PTY LIMITED

所在地:オーストラリア

事業内容:インターネットサーバサービス事業

積極的な投資活動とグループ経営の強化によって、
利益の追求と企業価値の向上に努めます。



代表取締役会長兼社長 丸山 治昭

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社第22期事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、従来からのホスティングサービスを中心としたインターネットサーバサービス事業に加え、当期よりデジタルコンテンツ事業を開始し、新サービスであるプロ野球選手評価格付けサービスBBR (Baseball Rating) やアフィリエイトプログラム「LeafFi (リーフィ)」の提供、Web制作等を展開しております。

インターネット業界全般につきましては、ADSLや光ファイバー網の普及に伴い、高速インターネット回線利用者が増加し、ブログ等に代表されるコミュニケーション手法の多様化によって業界全体が活性化しております。

このような状況のもと、当社グループはM&Aを中心とした積極的な投資活動を行い、前期末より新たに3社が当社グループに加わりました。その結果、第22期は、連結売上高および連結経常利益において過去最高の業績を記録いたしました。

今後も当社グループは、グループ経営を重視した事業展開を行っていく方針であり、グループ全体で密接な協業関係を築き、シナジー効果による業容の拡大を目指してまいります。

また、さらなる業容の拡大および新規事業の参入を果たすべく、M&Aを中心とした積極的な投資活動ならびに新サービスの開発を継続して行う所存であります。

また、創業以来、推進してきました利益およびフリー・キャッシュ・フロー重視の経営を貫きながら、一層の成長を目指します。その上で、成長に伴った形で、安定的な配当の実施等をしていくことにより、株主の皆様の御期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業紹介

インターネットサーバサービス事業

従来よりASJが拡充・発展させてきた、インターネット活用を支援する専門サービスです。今や企業経営に欠かせない存在となったインターネットですが、多くの企業が初期投資や運用にかかる人員確保等に関する課題を抱えています。そこにASJは最先端のサービスと環境をリーズナブルに提供しています。

ホスティングサービス

eコマース（電子商取引）の展開や、メールやWebをビジネスツールとして積極利用を図る顧客企業に対し、利用目的に適った安全性の高いサーバサービスを提供しております。

各種機能やその運用サービスと共に様々なソリューションを提案し、顧客企業のインターネットの本格活用を支援しています。



<http://www.asj.ne.jp/> ASJホスティングサービス

デジタルコンテンツ事業

ASJが提供するインターネットサーバサービス事業の経験を活かし、より付加価値を高めた、デジタルコンテンツ事業に進出しました。

デジタルコンテンツ事業では主に、Webサイト企画・制作並びにWebコンテンツの提供を行っております。

(株)スポーツレイティングスはプロ野球選手評価格付けシステムBBR (Baseball Rating) を開発。プロ野球ファンの心を捉えるコンテンツとして、ISPやマスコミの利用が始まっています。

(株)リーフ・アド・プランニングは多くの企業のWebコンテンツ制作を手がけると共に、Web広告ビジネスの活性化を促進するアフィリエイトプログラムを提供しています。

(株)イー・フュージョンは著名企業のWebサイト構築・ホームページ制作の他、Webコミュニティの運営などユニークなインターネットコンテンツを制作しています。



<http://www.sports-ratings.co.jp/>

スポーツレイティングス



<http://www.leaffi.jp>

Leaffi

BBR



<http://bbr.sports-ratings.jp>

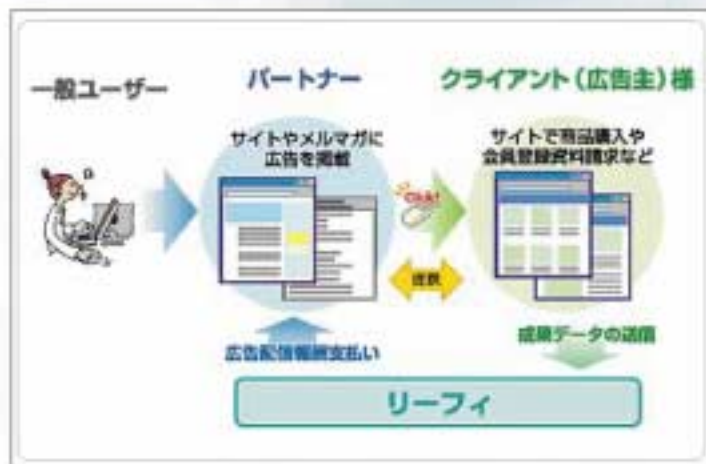
ポータルサイトやTV番組・雑誌などが注目する、
プロ野球を深く楽しむ情報コンテンツ。

BBR (Baseball Rating) とは、新たにASJグループとなった(株)スポーツレイティングスが独自開発した、プロ野球選手評価格付けシステムです。1試合毎に出場した全選手について、様々なパラメータを設定し、選手毎に総合的に「勝利に対する貢献度」を数値化していくことで、プロ野球の新たな楽しみ方を提供しております。

ビジネスとしての有望性

BBRはプロ野球をより深く楽しむためのガイドラインとなるレイティングであり、公正かつ明確な選手評価です。野球ファンにとっては試合を楽しむ重要な要素が一つ増えたこととなります。(株)スポーツレイティングスは有償による情報提供を行っており、すでに著名ポータルサイトやスポーツTV番組・雑誌など、プロ野球に関する様々なコンテンツプロバイダーにご利用いただいております。

リーフィ



<http://www.leafly.jp>

効果的な集客と適正なコスト算出を実現し、
Web広告の有効性を高めるサービス。

リーフィは、(株)リーフ・アド・プランニングが提供するアフィリエイトプログラムです。アフィリエイトプログラムとは、提携したWebサイトやメールマガジンに訪れた一般ユーザーをバナー等で広告主のサイトに誘導し、その直後の商品購入や会員登録等の成果に応じて提携先に報酬を還元する成功報酬型広告システムです。

リーフィの特徴は、1番目に日本初のリアルタイムアフィリエイトであること、導入ユーザーは広告効果を管理画面でリアルタイムに確認することができます。

次に、複数のプログラムを一括管理できること、複数の商品(もしくはサービス)を販売する場合でも管理画面で一括管理が可能で、さらにプログラム毎に詳細なデータ分析ができます。

ビジネスとしての有望性

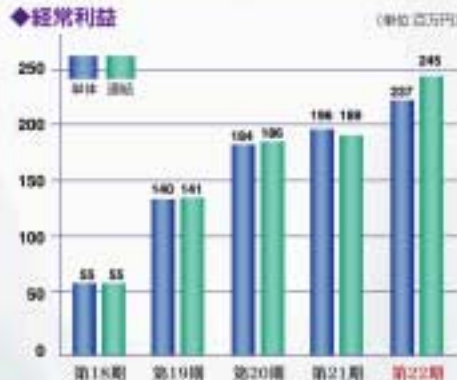
従来は広告媒体としてのサイトが持つ集客力の高低は測定しにくく、バナー広告の有効性や広告効果を正確に判断できませんでした。アフィリエイトプログラムは適正な広告費が算出できるだけでなく、データ統計に基づいた的確な広告戦略が進められることから、Web広告市場を一気に活性化させることとなります。単体でのビジネスの有望性はもちろん、ASJのインターネットサービサーサービスにおけるソリューションの一つにラインナップすることで、多大なシナジー効果が見込まれています。

決算ハイライト

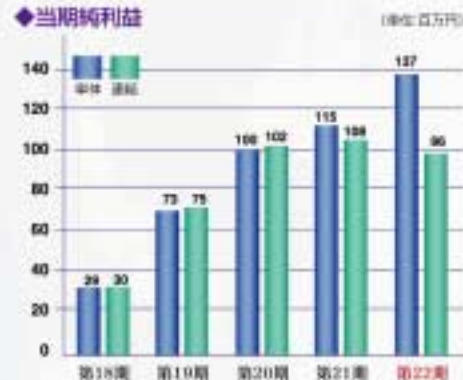
◆売上高



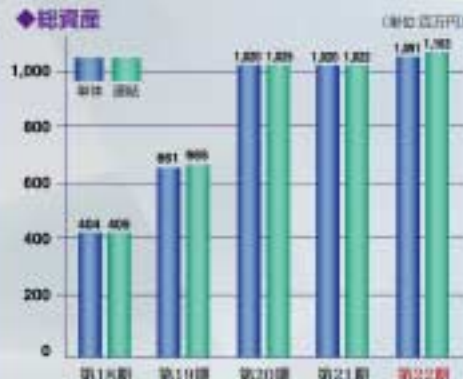
◆経常利益



◆当期純利益



◆総資産



◆株主資本



◆1株当たり当期純利益



| 科目 | 単位 | 第18期 | | 第19期 | | 第20期 | | 第21期 | | 第22期 | |
|------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで | 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで | 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで | 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで | 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで | 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで | | | | |
| 売上高 | (千円) | 373,848 | 373,848 | 559,822 | 559,822 | 682,525 | 682,525 | 739,430 | 739,485 | 804,637 | 1,004,906 |
| 経常利益 | (千円) | 55,040 | 55,763 | 140,512 | 141,879 | 184,655 | 186,790 | 196,869 | 189,745 | 237,267 | 245,526 |
| 当期純利益 | (千円) | 29,919 | 30,179 | 73,667 | 75,027 | 100,506 | 102,193 | 115,253 | 108,006 | 137,593 | 96,681 |
| 総資産 | (千円) | 404,863 | 405,986 | 661,111 | 665,058 | 1,020,666 | 1,025,094 | 1,020,957 | 1,022,157 | 1,091,259 | 1,163,982 |
| 株主資本 | (千円) | 278,327 | 282,140 | 451,994 | 458,236 | 823,751 | 830,049 | 809,148 | 807,276 | 859,177 | 896,714 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 19,893.48 | 20,065.87 | 40,677.67 | 41,428.60 | 10,334.90 | 10,508.33 | 10,754.27 | 10,078.01 | 1,202.87 | 1,547.87 |

平成17年3月期活動サマリー

当期は積極的なM&Aや出資戦略の推進により、新たに子会社として3社が当グループに加わりました。これによりデジタルコンテンツ事業の拡充が急速に進み、従来のインターネットサーバサービス事業と併せて総合的なインターネットビジネスを展開していく基盤が整いました。次期以降も、こうしたM&A等による事業領域及びサービスの拡大を続け、引き続き既存事業との相乗効果を追求していきます。

| | | |
|-------------|-------|--|
| 平成16年5月20日 | 資本政策 | 株式分割(1:3) |
| 平成16年5月28日 | M&A | 株式会社リーフ・アド・プランニング 第三者割当増資により子会社化 |
| 平成16年8月2日 | 販売政策 | 「ビジネスパートナー」制度 運用開始 |
| 平成16年8月16日 | サービス | 英国COMODO社と業務提携 「ASJ SSL」提供開始 |
| 平成16年11月22日 | 資本政策 | 株式分割(1:2) |
| 平成16年11月25日 | M&A | 株式会社イー・フュージョン 自己株式による株式交換により完全子会社化 |
| 平成17年1月19日 | 会社設立 | 株式会社スポーツレイティングス 設立 |
| 平成17年3月1日 | サービス | 株式会社スポーツレイティングス プロ野球選手評価分析システム(BBR)サイトオープン |
| 平成17年3月4日 | サービス | 株式会社リーフ・アド・プランニング アフィリエイトプログラム「Leaffi」提供開始 |
| 平成17年3月22日 | データ配信 | 株式会社スポーツレイティングス 楽天株式会社がデータ採用 |
| 平成17年4月1日 | データ配信 | 株式会社スポーツレイティングス テレビ東京がデータ採用 |

営業の概況

当連結会計年度(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の概要

当連結会計年度の日本経済は、昨年度までのデジタル家電景気が減速しつつも製造業全体として見れば堅調さを保ち、緩やかな成長を維持しています。その一方で、日本企業製品の生産・消費を牽引していた中国との関係が政府レベルで緊張を見せるなど、予断を許せない状況となっています。

このような経済環境下、当社グループにおける連結売上高は、過去最高となる1,004百万円(前年同期比135.9%)となりました。

主たる要因としては、インターネットサーバサービス事業においてサービスラインナップの強化を継続的に実施し、順調に顧客件数を増加させたことが第一に挙げられます。次に、当連結会計年度より当社グループの一員となった(株)リーフ・アド・プランニング、(株)イー・フュージョンおよび(株)スポーツレイティングスが展開しているデジタルコンテンツ事業が順調に推移したことも売上増加の主たる要因として挙げられます。

利益面では、売上高の増加に伴い、経常利益が連結・単体共に前年同期と比較して20%以上の増収となりました。

単体当期純利益については前年同期を上回る結果となり、順調に推移しています。

また、連結当期純利益に関しては、(株)リーフ・アド・プランニング社の子会社化の際に発生した連結調整勘定を当連結会計年度において一括償却を実施したため、特別損失として40百万円を計上したことから、前年同期を下回る結果となりました。

しかしながら、連結調整勘定一括償却額を除外した場合における連結当期純利益は136百万円(前年同期比125.9%)となります。

◆M&Aによる売上増



事業規模拡大のために

M&A戦略の積極推進による企業規模と企業価値の増大を進めます。

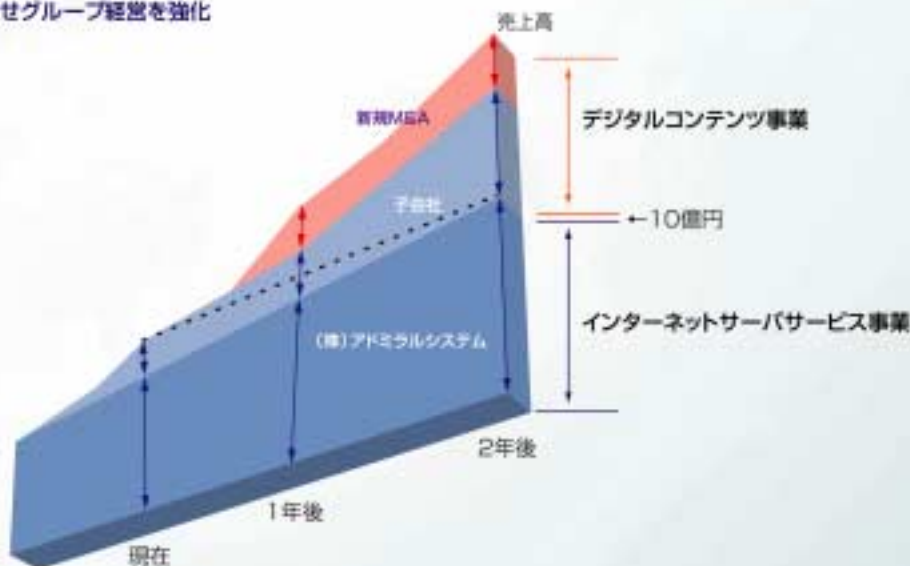
当社グループが所属するインターネット業界全般において、Blog等に代表されるコミュニケーション手法の多様化により事業環境が活性化しており、引き続きさらなる需要拡大が見込まれる状況です。

このような状況の中で、当連結会計年度においてM&Aの実施により子会社化した2社および新設会社1社が加わりました。現在すでにWeb制作やアプリケーションの開発等を通じて協業成果を出し始めていますが、今後さらに密接な協業体制を図ることで、グループ全体のシナジー効果を上げ、業容拡大を目指していきたいと考えております。

また、当社子会社である(株)スポーツレイティングスが、本年3月よりプロ野球選手評価格付けサービス「BBR (Baseball Rating)」の運営を開始し、(株)リーフ・アド・プランニングも、本年3月よりアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi (リーフィ)」の運営を開始しました。今後、これら新規事業の早期戦力化及び、さらなる新規事業への参入を図りたいと考えています。

以上のように、M&Aによる吸収合併効果が早くも見え始めたことを踏まえ、来期以降もさらなる業容の拡大と新規事業の参入を目的として、M&Aを中心とした積極的な資本提携および業務提携を継続的に進めます。

◆M&Aを加速させグループ経営を強化



次期見通し

中核事業の継続的成長と新規事業の早期戦力化を図ります。

次期事業戦略の主要指針について、インターネットサーバサービス事業では、前連結会計年度同様にサービスラインナップを継続的に強化し、顧客件数の増加に伴う売上高増加を図っていきます。

デジタルコンテンツ事業については、(株)スポーツレイティングスが提供するプロ野球選手評価格付けサービス「BBR (Baseball Rating)」および(株)リーフ・アド・プランニングが提供するアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi (リーフィ)」の早期戦力化を目的としたマーケティング活動を上半期中心に実施していく方針です。

以上の事業活動計画のもと、次期の連結業績見通しについては、連結売上高1,127百万円(前年同期比112.3%)、連結経常利益285百万円(前年同期比116.3%)を予定し、連結当期純利益に関しては、前年同期比156.3%となる150百万円を予定しております。

次期における1株あたりの配当額は500円を予定しておりますが、当社グループの方針として、配当性向20%～30%を目安に、当期純利益の拡大に伴いながら配当額の増加に積極的に努めていく方針であります。

なお、当社グループは前連結会計年度において、M&Aの実施により2社を子会社化し、1社を設立しました。次期においても、グループ相互間の連携を強めていくとともに、さらなる業容の拡大および新規事業の参入を目的として、M&Aを中心とした資本提携および業務提携を積極的に実施していく方針です。

尚、今回発表の業績予想にM&Aによる業績の変動を見込んでおりません。

過期業績予想

| 連 結 | |
|---------|----------|
| 売 上 高 | 1,127百万円 |
| 経 常 利 益 | 285百万円 |
| 当期純利益 | 150百万円 |

| 単 体 | |
|---------|--------|
| 売 上 高 | 855百万円 |
| 経 常 利 益 | 270百万円 |
| 当期純利益 | 146百万円 |

連結決算概要

◆連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科目 | 当期 (2005年3月31日現在) | 前期 (2004年3月31日現在) |
|--------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 655,287 | 635,769 |
| 現金及び預金 | 585,584 | 620,488 |
| 受取手形及び売掛金 | 50,847 | — |
| 売掛金 | — | 3,483 |
| たな卸資産 | 4,096 | 396 |
| 繰延税金資産 | 4,720 | 3,395 |
| その他 | 10,183 | 8,004 |
| 貸倒引当金 | △144 | — |
| 固定資産 | 508,694 | 386,387 |
| 有形固定資産 | 185,132 | 189,478 |
| 建物及び構築物 | 111,494 | 116,564 |
| 車両運搬具 | 6,913 | 9,374 |
| 工具器具備品 | 37,723 | 34,540 |
| 土地 | 29,000 | 29,000 |
| 無形固定資産 | 264,915 | 162,627 |
| 借地権 | 88,106 | 88,106 |
| ソフトウェア | 90,740 | 71,752 |
| 連結調整勘定 | 83,131 | — |
| その他 | 2,937 | 2,768 |
| 投資その他の資産 | 58,647 | 34,281 |
| 投資有価証券 | 32,400 | 32,400 |
| 繰延税金資産 | — | 321 |
| その他 | 28,645 | 1,560 |
| 貸倒引当金 | △2,398 | — |
| 資産合計 ◀Point1 | 1,163,982 | 1,022,157 |

| 科目 | 当期 (2005年3月31日現在) | 前期 (2004年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 260,687 | 211,833 |
| 買掛金 | 18,571 | 9,125 |
| 未払法人税等 | 63,402 | 40,628 |
| 未払消費税等 | 10,530 | 11,337 |
| 前受金 | 141,142 | 125,490 |
| その他 | 27,040 | 25,251 |
| 固定負債 | 2,501 | 3,047 |
| その他 | 2,501 | 3,047 |
| 負債合計 ◀Point2 | 263,188 | 214,880 |
| (少数株主持分) | 4,079 | — |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | 319,250 | 319,250 |
| 資本剰余金 | 336,506 | 257,000 |
| 利益剰余金 | 381,718 | 327,906 |
| 為替換算調整勘定 | 790 | △22 |
| 自己株式 | △141,551 | △96,857 |
| 資本合計 ◀Point3 | 896,714 | 807,276 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 1,163,982 | 1,022,157 |

Point1 資産の状況

当連結会計年度末における資産は、子会社増加による資産増及び連結調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べ141,824千円増加いたしました。

Point2 負債の状況

当連結会計年度末における負債は、利益の増加に伴う未払法人税等の増加ならびに一年払の顧客増加に伴う前受金の増加等により、前連結会計年度末と比べ48,307千円増加いたしました。

Point3 資本の状況

当連結会計年度末における資本の状況は、自己株式を利用した株式交換によるM&Aの実施による資本剰余金の増加及び当期純利益の増加に伴う利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比べ、89,437千円の増加となりました。この結果、当連結会計年度末における株主資本比率は、前連結会計年度末と比べ2.0ポイント低下し77.0%となりました。

連結決算概要

◆連結損益計算書

(単位:千円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|--------------|---------------------------|---------------------------|
| | (2004年4月1日から2005年3月31日まで) | (2003年4月1日から2004年3月31日まで) |
| 売上高 | 1,004,906 | 739,485 |
| 売上原価 | 338,557 | 185,443 |
| 売上総利益 | 666,348 | 554,041 |
| 販売費及び一般管理費 | 421,657 | 362,480 |
| 広告宣伝費 | 43,646 | 44,273 |
| 役員報酬 | 81,880 | 63,585 |
| 給与手当 | 131,147 | 100,432 |
| 賞与 | 1,281 | 15,273 |
| 福利厚生費 | 25,820 | 22,993 |
| 支払手数料 | 52,606 | 42,152 |
| 減価償却費 | 19,379 | 19,889 |
| 研究開発費 | 8,927 | 8,627 |
| その他 | 56,967 | 45,251 |
| 営業利益 | 244,691 | 191,561 |
| 営業外収益 | 3,813 | 1,338 |
| 受取利息 | 139 | 113 |
| 受取配当金 | 1,048 | 1,044 |
| 有価証券売却益 | 2,507 | — |
| 賃貸不動産収入 | — | 60 |
| その他 | 118 | 121 |
| 営業外費用 | 2,979 | 3,154 |
| 支払利息 | 1,032 | 150 |
| 新株発行費 | 90 | — |
| 為替差損 | 942 | 2,209 |
| 自己株式関連費用 | 728 | 794 |
| その他 | 186 | — |
| 経常利益 | 245,526 | 189,745 |
| 特別利益 | 1,459 | — |
| 貸倒引当金戻入益 | 1,459 | — |
| 特別損失 | 46,475 | 5,546 |
| 固定資産除却損 | 585 | 5,246 |
| 会員権解約損 | — | 300 |
| 買収関連費用 | 5,500 | — |
| 連結調整勘定償却額 | 40,389 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | 200,509 | 184,198 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 105,725 | 80,806 |
| 法人税等還付税額 | — | 5,079 |
| 法人税等調整額 | △1,003 | 465 |
| 少数株主損失 | 894 | — |
| 当期純利益 | 96,681 | 108,006 |

◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 区分 | 当期 (2004年4月1日から2005年3月31日まで) | 前期 (2003年4月1日から2004年3月31日まで) |
|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー ◀ Point 4 | 169,683 | 177,606 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー ◀ Point 5 | △24,701 | △78,953 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー ◀ Point 6 | △180,072 | △130,181 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 185 | △3,174 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △34,904 | △34,702 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 620,488 | 655,191 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 585,584 | 620,488 |

Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果として得られた資金は、169,683千円と、前年同期に比べ7,923千円(△4.5%)の減少となりました。主な要因としては、税金等調整前当期純利益は順調に増加しましたが、売掛金の増加により未払金が期首と比較して大幅に減少したためです。

Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果として使用した資金は、24,701千円と前年同期に比べ54,252千円(△68.7%)の減少となりました。主な要因としては、サーバ関連及びアプリケーション関連の設備投資は、前連結会計年度と比較してはば横ばいでしたが、株式交換により子会社化した株式会社イー・フュージョンの資金受入額を投資活動によるキャッシュ・フローに加算したためです。

Point 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は、180,072千円と前年同期に比べ49,890千円の増加(38.3%)に転じました。これは、配当金の支払ならびに自己株式の取得、子会社が有していた借入金の一括返済によるものです。

◆連結剰余金計算書

(単位:千円)

| 区分 | 当期 (2004年4月1日から2005年3月31日まで) | 前期 (2003年4月1日から2004年3月31日まで) |
|------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| (資本剰余金の部) | | |
| 資本剰余金期首残高 | 257,000 | 257,000 |
| 資本剰余金増加高 | | |
| 株式交換に伴う資本剰余金増加高 | 79,506 | — |
| 資本剰余金期末残高 | 336,506 | 257,000 |
| (利益剰余金の部) | | |
| 利益剰余金期首残高 | 327,906 | 252,900 |
| 利益剰余金増加高 | | |
| 当期純利益 | 96,681 | 108,006 |
| 利益剰余金減少高 | | |
| 配当金 | 31,155 | 33,000 |
| 自己株式処分損 | 11,714 | — |
| 利益剰余金期末残高 | 381,718 | 327,906 |

単体決算概要

◆貸借対照表(要約)

(単位:千円)

| 科目 | 当期 (2005年3月31日現在) | 前期 (2004年3月31日現在) |
|----------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 445,612 | 615,983 |
| 固定資産 | 645,646 | 404,974 |
| 有形固定資産 | 174,834 | 183,561 |
| 無形固定資産 | 172,778 | 162,010 |
| 投資その他の資産 | 298,033 | 59,402 |
| 資産合計 | 1,091,259 | 1,020,957 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 232,082 | 211,809 |
| 負債合計 | 232,082 | 211,809 |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | 319,250 | 319,250 |
| 資本剰余金 | 257,000 | 257,000 |
| 利益剰余金 | 424,479 | 329,755 |
| 自己株式 | △141,551 | △96,857 |
| 資本合計 | 859,177 | 809,148 |
| 負債及び資本合計 | 1,091,259 | 1,020,957 |

◆損益計算書(要約)

(単位:千円)

| 科目 | 当期 (2004年4月1日～2005年3月31日現在) | 前期 (2004年4月1日～2004年3月31日現在) |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 804,637 | 739,430 |
| 売上原価 | 209,538 | 193,364 |
| 販売費及び一般管理費 | 360,524 | 349,309 |
| 営業利益 | 234,574 | 196,756 |
| 営業外収益 | 3,687 | 1,277 |
| 営業外費用 | 994 | 1,164 |
| 経常利益 | 237,267 | 196,869 |
| 特別利益 | — | — |
| 特別損失 | 6,084 | 5,546 |
| 税引前当期純利益 | 231,183 | 191,322 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 94,116 | 80,682 |
| 法人税等還付税額 | — | 5,079 |
| 法人税等調整額 | △525 | 465 |
| 当期純利益 | 137,593 | 115,253 |
| 前期繰越利益 | 298,300 | 214,201 |
| 自己株式処分差損 | 11,714 | — |
| 当期末処分利益 | 424,179 | 329,455 |

◆利益処分計算書

(単位:千円)

| 区分 | 当期 | 前期 |
|---------|---------|---------|
| 当期末処分利益 | 424,179 | 329,455 |
| 利益処分額 | | |
| 配当金 | 31,275 | 31,155 |
| 次期繰越利益 | 392,904 | 298,300 |

株式の状況(2005年3月31日現在)

利益還元方針について

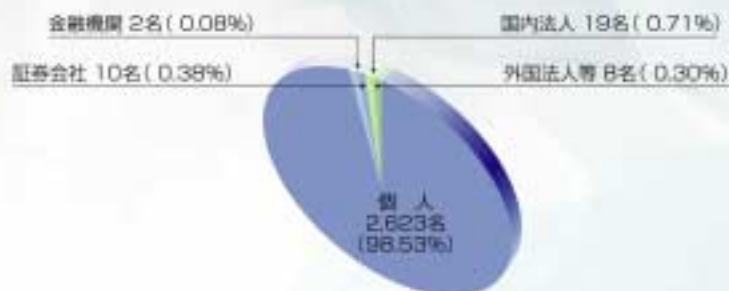
当社グループは株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績及び企業体質の強化に向け内部留保の確保を勘案した上で、利益配当を実施していく方針です。株主配当は、配当性向20~30%を目安とし、1株当たり当期純利益を年々増加していくに伴い、1株当たりの配当金額を継続的な努力として、長期的に安定した配当を実施していきたいと考えています。

- 会社が発行する株式の総数—264,000株
- 発行済株式の総数———66,000株
- 株主数———2,662名
- 大株主

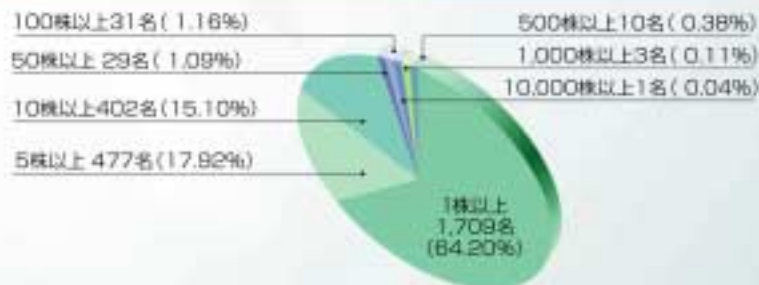
| 株主名 | 持株数(株) | 議決権比率(%) |
|-----------|--------|----------|
| 丸山治昭 | 31,656 | 50.62 |
| 姜 在鎬 | 1,086 | 1.74 |
| 丸山君子 | 1,050 | 1.68 |
| 田村公一 | 856 | 1.37 |
| 黒岩潤司 | 853 | 1.36 |
| 堀 正明 | 849 | 1.36 |
| ASJ従業員持株会 | 791 | 1.26 |
| 青木邦哲 | 742 | 1.19 |
| 室田和男 | 732 | 1.17 |
| 田代博之 | 720 | 1.15 |
| 丸山芳美 | 720 | 1.15 |

(注) 上記には含まれておりませんが、当社は自己株式3,450株を保有しております。尚、当該株式は商法241条第2項の規定により議決権を有していません。

所有者別株主分布状況



所有数別株主分布状況



会社の概要

◇会社概要 (2005年3月31日現在)

社 名:株式会社アドミラルシステム (ADMIRAL SYSTEMS INC.)

略 称:ASJ

証券コード:2351

所 在 地:〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1-18-8

設 立:1984年2月15日

資 本 金:3億1,925万円

◇資格・認定

JPNIC会員

JPNIC IPアドレス管理指定事業者

JPRS正規指定事業者

メルボルンIT (INWW)戦略パートナー

日本ベリサイン正規代理店

NSIインターナショナル・プレミア・パートナー

一般第2種電気通信事業者A-08-1621

社団法人 日本テレコムサービス協会会員

財団法人 財務会計基準機構会員

◇役員 (2005年6月18日現在)

代表取締役会長兼社長——丸山 治昭

常務取締役——青木 邦哲

常務取締役——沼口 芳朗

常務取締役——黒岩 潤司

取締役——岡本 彰彦

常勤監査役——室田 和男

監査役——石井 次男

監査役——藤原 哲

ASJディスクロージャーポリシー

当社は株主及び投資家の皆様に向けて、適時に正確かつ公平な情報を提供するため、株式会社東京証券取引所の定める適時開示規則 (以下「適時開示規則」) に沿ってディスクロージャーを行っています。また、適時開示規則に該当しない情報についても、特定の株主及び投資家に情報が集中しないように公平な開示を行い、株主及び投資家にとって有用な情報の提供を行うことをディスクロージャーの基本方針としています。

主要子会社の概要 (2005年6月18日現在)



●株式会社スポーツレイティングス

- 事業内容 スポーツレイティング情報配信サービス
- 資本金 1億円
- 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保渋谷ビル5階
- 電話番号 03-5766-0800 FAX番号 03-5766-0909

Leaf Ad Planning



●株式会社リーフ・アド・プランニング

- 事業内容 コンテンツ企画制作、Web企画制作、アフィリエイトプログラム事業
- 資本金 1億円
- 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保渋谷ビル5階
- 電話番号 03-5766-0711 FAX番号 03-5766-0491

eFUSION

●株式会社イー・フュージョン

- 事業内容 Webコンテンツ制作事業・Webコミュニティ制作事業
- 資本金 5500万円
- 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保渋谷ビル5階
- 電話番号 03-5766-0521 FAX番号 03-5766-0522

当社ウェブサイトでも詳しい情報をご覧になれます。



<http://www.asj.ad.jp>

株主メモ

- | | |
|-------------|---|
| ■決算期日 | 毎年3月31日 |
| ■定時株主総会 | 決算日の翌日から3ヶ月以内 |
| ■基準日 | 毎年3月31日 その他、臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。 |
| ■配当金支払株主確定日 | 利益配当金 毎年3月31日 |
| ■公告掲載URL | http://www.asj.ad.jp/ |
| ■名義書換代理人 | UFJ信託銀行株式会社 |
| ■同事務取扱所 | UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| ■お問い合わせ先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話番号 0120-232-711 Webサイト http://www.ufjtrustbank.co.jp/ |
| ■同取次所 | UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 |
| ■端株買取請求取扱場所 | 上記名義書換人がお取り扱いいたします。 |

株式会社

アドミラルシステム

〒332-0023 埼玉県川口市飯塚 1-18-8

電話 048-259-5111(代表)

FAX 048-259-3700